

あつた麒麟郭跡地の整備は西公園と一体化した多目的なオープンスペースをめざして現在整備工事が進められていくところです。



変わり行く母校の姿

大和郡山市では「郡山城跡公園基本計画」に沿って城跡公園全体の整備事業が着々と進められています。

母校正門の前に広がる本丸跡の天守台は発掘調査や石垣の改修がすでに完了し現在は展望台として多くの方々に親しまれています。また城内高校の校地であつた麒麟郭跡地の整備は西公園と一体化した多目的なオープンスペースをめざして現在整備工事が進められていくところです。



冠山会会長
小林 勢治

母校の

飛躍を願う

一方で学校に目を向けると南館西側にあつた理化館



が老朽化のため使えなくなったため、体育教室跡地に立派な新理化館が建設され今年度から使用されています。

校地の内外を問わず年々その風景や姿は変貌し、私が高校時代にお世話になった校舎や施設の中で当時のまま残っているのは体育館だけになってしまいました。

昔を懐かしむ気持ちからすれば少し寂しい気もしますが、母校を取り巻く環境が整備され学校施設も改善されて後輩たちが快適に郡高での三年間を過ごしてくれるのは卒業生の一人として嬉しい限りです。

卒業生の言葉

新型コロナウイルスの感染拡大は三年目を迎えました。この間にウィルス自体が変異を繰り返して感染力を高め、未だ収束する気配を感じることができません。そのような中で今春郡高を巣

第42号

発行所
奈良県立郡山高等学校
冠山会
発行責任者
日高 容子
編集責任者
冠山会事務局
発行部数 32,000部

立つていった卒業生たちは、コロナ禍の始まりと同時に入学し卒業するまでの三年間を通して様々な制約のなかでの高校生生活を余儀なくされた学年でありました。

卒業式の前日、土居校長先生とお会いし卒業生の三年間の様子や進路の状況などをお伺いする機会を得ましたが、先生は「本当によく頑張った学年です」と胸を張って色んなエピソードをお話ししてくださいました。そして「明日の卒業式は是が非でも思い出に残る式典にしてあげたい」と熱い胸の内を語ってくださいました。

そして卒業式当日、厳粛な空気の中で今年も卒業生代表の力強い言葉が式場に響きました。『何も出来ないことを嘆くのではなく、その中で何ができるのかを考えることを学びました。』

同窓会活動の中止相次ぐ

コロナウィルスの感染拡大は同窓会活動にも少なからず影響を及ぼし、これまで頻繁に開催されていた学年同窓会や部活動のOB会等が軒並み中止や延期され、冠山会事業も役員会以外の諸事業を中止いたしました。

令和5年度の冠山会総会は ホテル日航奈良で開催します

冠山会総会の運営は卒業後50年を迎える皆さんの学年同窓会とタイアップして行います。

令和5年度は昭和49年卒業の皆さんとともに下記の日程で開催する予定です。

令和5年5月14日(日曜日)

午前10時00分～ 受付
11時00分～ 総会行事
13時00分～ 懇親会



母校の飛躍を願って

ところで、昨年度、女子ソフトボール部が昭和三十二年以来、

とりわけ冠山会総会は卒業五十年を迎えられる学年の学年同窓会とタイアップして開催する方向で準備を進めてきましたが、残念ながら昨年度に引き続き本年度も開催を見送ることとなりました。

六十四年ぶりにインターハイ出場を果たしてくれました。もちろん他の部活動でも全国大会出場を目指して日々努力を続けています。冠山会ではこうした郡高生たちの活動を今後とも物心両面にわたって支援してまいります。



また、郡山高校は来年度、創立百三十周年を迎えます。この佳節を契機に母校の更なる飛躍を期待し応援したいのですが、そのためには会員各位には冠山会活動への更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

着任の挨拶



新校長 栢木 正樹

この春の人事異動により、大和高田市立高田商業高等学校より赴任いたしました栢木正樹（かやのき まさき）と申します。今から三十六年前に大学を卒業後、保健体育科の教員として本校に着任いたしましたのが、私の教員生活の始まりでした。当時の保健体育科主任先生であつた小林冠山会長様から温かいご指導をいただきながら、授業や部活動などに全力で取り組む毎日を送りました。郡高の活気溢れる生徒たちとともに楽しく過ごした学校生活は、昨日のことのように鮮明に記憶に残っております。この郡山高校での経験が教員としての人生を方向づけ、私の今日を支えてくれています。私にとつても重要であつたスタート地点、教員としての原点にこうして再び立つことができることに、この上ない喜びを感じています。そして同時に、創立百三十周年を数え、奈良県屈指の歴史と伝統を誇る高等学校の校長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いであります。

校生活を停滞させないよう努力を続けています。しかしながら、冠山会員の皆様にとつても思い深い、体育大会や文化祭などの学校行事や部活動を平常通り行うことは、依然としてままならない状況です。感染者数が減少し学校の活動にアクセルを踏み始められる、と思つたところで再度感染が拡大する、ということが何度も繰り返され、生徒達はいつまでこの状況が続くのか、いつまで我慢しなければならぬのかと、つねに心にストレスを抱えて生活しています。一学期の始業式では、日本のプロ野球やアメリカの大リーグで活躍された鈴木イチロー選手の「壁というのは、できる人にしかやつてこない。超えられる可能性がある人しかやつてこない。」という言葉を紹介し、君たちには壁を乗り越える力がある、目の前の壁を乗り越える決意をし、どう挑むかを考え、努力しよう、新たな学年を迎えた生徒たちを励ましたところで、新型コロナウイルス感染症について、一刻も早い収束を願うとともに、今後感染対策を講じながら学校生活を進めて参ります。

このような状況でも、戦後最大の転換

と言われる教育改革は進んでおります。高等学校は今年度から新しい学習指導要領に則つた教育課程をスタートさせました。求められている「個に応じた指導」の一層の充実と、令和の日本型学校教育の新たな構築のためには、子供の学びや教職員の在り方、そしてそれを支える教育環境の整備等に取り組まなければなりません。本県の県立高校では、ICT機器を活用した教育活動が推進されています。本校にも教室に電子黒板が配置され、二期期からは一年生全員が個人所有のノート型パソコンを活用して、様々な学習活動に取り組む予定です。このような大きな変動を迎えることに對して、生徒の成長に資する教育効果への期待が膨らむ一方で、新たな取り組みが順調に軌道に乗るまでは不安もありますが、立ち止まることなく取り組みを進めて参ります。今後とも、郡山高校のさらなる発展に鋭意努力して参りますので、冠山会の皆様方には、母校の教育振興のため変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。最後になりましたが、冠山会のみますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

松 籙

幼少の頃、実家から歩いて20分程度のところに住んでいました。記憶も定かではありませんが、庭で遊ぶとそこには細長いカタツムリ（キセル貝と言うそうです）がいたこと、単車に接触して怪我をしたこと：半世紀以上前のことなのですが、今もその場所を通ると懐かしい思いに駆られます。

さて、私は昨年から郡山高校に勤務していますが、この郡山城一帯は私にとつて思い深い場所です。幼少の頃過ごした家を思い出すように懐かしい気持ちにさせてくれます。今から30年以上前、昭和62年に新採用教員となり、城内高校に勤務したからです。

新採用の記念にずっと机中に保存してきたものに、育友会会報「城内」第18号があります。この会報に昭和62年の城内高校がどのように記されているのでしょうか。「どうぞよろしくー新任の辞ー」では梅田昭校長先生が「八年ぶりに本校に帰ってきてびっくりしましたことは、施設・設備がたいへんよくなっているというところと、一学年三学級が、二倍の六学級の中規模校の学校になっているということでした。木造校舎はなくなり、農高時代の建物がとり除かれ、そこに現在一年生が入っている新校舎ができ、その東側の絶景の地に、県下最初のセミナーハウスが建てられています。」とお書きになっています。中規模校となったこと、セミナーハウスが完成したことの喜びが綴られ

退職のご挨拶



前校長 土居 正明

今年のお城祭りでは、踏切にゲートも立ち、露天商こそないものの春を求めて多くの市民のみなさまがそぞろ歩きをされました。コロナウィルスの新規感染者

数だけを単純に比べると、ずっと三桁が続き、昨年一昨年と比べようもない勢いですが、さすがにコロナ禍三年目の春ともなると、この生活が自然であるような風情すらあります。

ただ、オミクロン株の第六波では若い年代に感染者が広がり、郡高も学年閉鎖や学級閉鎖をせざるを得ず、その影響を最小限に押さえることに躍起となりました。私が赴任した平成三十一年度の卒業式前後からコロナ禍が始まり、この年度の卒業五〇周年のみなさまには招待をさせていたいただきながらご遠慮いただくという恐縮至極の仕儀になりました。結局、定年を迎えるまでついに終息の日を見ることはありませんでした。

城内校舎から引き上げたのは四年前、麒麟郭にはもう学校の面影はありません。赤い欄干の極楽橋も架かり、三の丸公園にカフェなどの収益施設を配置する

構想が新聞に載っておりまして。郡山城址の整備計画は着実に進行し、新たな姿に変貌しようとしております。

一日も早いコロナ禍終息を祈る気持ちは強いものの、もう昔に戻ることだけを期待するのではなく、この経験で学んだ多くの事柄、得たICTなど多くの施設を有効に活かし、新しい郡高を切り開いていつてほしいと願います。

校長として、郡高を見させていただいた三年間を振り返ると、一番によりがえるのは、なんといつても清々しく逞しい郡高生の笑顔です。一緒に赴任させていただいた生島監督率いる野球部が、久しぶりに近畿大会まで進出し、ドキドキしながらお金を集めなきゃ、と思ったこともありました。また、グラウンドで泣きながら校歌を喚いている選手の姿は忘れられません。

時々校長室を訪れる生徒が少しずつ増え、話し込みながら現役郡高生はこんなことも考えてるんだなあと感じるようになりました。今後の郡高を考えると、また、コロナ禍と学校行事の両立を模索

しているときには、大いに指針とすることができました。

思い通りの学校行事や部活動の練習をさせてやれなかったことも多々ありましたが、不満をぶちまけることなく、こんな中でも実施していただき感謝します、という言葉に接し熱いものがこみ上げました。

毎朝、南門の坂で挨拶を返してくれる爽やかな郡高生たちと過ごせた教員生活最後の三年間は、この上なく幸せな、宝石のような時間となりました。

私のわがままで最終授業までさせていただき、心より感謝しております。

後は、伝統ある剣道部が全国の舞台で活躍してくれることを楽しみにしながら、郡高の一応援団として今後も注目し続けたいと思います。

冠山会会員のみなさま方のますますのご活躍を祈りながら、三年間、お世話になりましたことに心よりの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

ていました。一学年主任の松井秀史先生も会報に寄稿されており、クラス宿泊研修として利用し、生徒たちが満足していたことを記されています。私もこのとき一学年の担任をさせていただき、宿泊研修を引率したことは今も覚えています。

現在、城内高校跡地は体育館を除いて建物がないまっさらな土地になっています。セミナーハウスも一年棟もあります。跡地は昨年度から本格的な工事に入り、令和6年度に都市公園として生まれ変わる予定になっているからです。跡地を横目に見ながら自動車通勤するとき、郡山城天守台から遠目に眺めるとき、更地になってしまった寂しさも感じます。

ただ、郡山高校に赴任して間もないころ、城内高校の過去との出会いがありました。本校校友会館を訪れた際、入り口に城内高校のモニメント―西岡常一氏の「磨斧作針」碑、「奈良県立城内高等学校」の黒い学校銘板等―が置かれているのに気づいたのです。ここに移動されていたのだな、出会えるとは思わなかったと少し嬉しい気分になりました。後には校友会館1階にも城内高校の資料が展示されていることもわかりました。

今回改めて「冠山会だより」40号（令和2年）を読むと、「旧城内高等学校に在籍いただいた教職員並びに卒業生の皆様へ」として、校友会館に元校長室に設置されていた記念物品等を保存していること、見学者は本校事務室に連絡してほしいことが記されていました。関心のある皆様は一度郡山高校をお訪ねいただけたらと思います。

卒業50周年卒業式の招待をうけて

井上 成功 (昭和47年卒)

私達は郡山高校を昭和47年に卒業して以来卒業50年を記念して卒業式に招待を受けることを長い間夢に見て楽しみにしていました。今年2月の中旬にクラス年次幹事が冠山会館に集まり依然コロナの感染が拡がるなか、卒業式招待の件と今後の学年同窓会を開催するかどうかの話し合いを行い卒業式招待は個人の判断で出欠を決め寄付の申し出のある方にはクラス年次幹事が連絡を取ることとし、学年同窓会の中

止し延期と決まりました。

3月1日には依然コロナの感染がまん延するなかでしたが、土居校長先生のご英断と教職員の皆様のご苦勞のおかげで感染対策を十分執られた卒業式に招待を受けました。当日まで欠席の連絡があり、PCR検査が陽性になった人や家族が感染して濃厚接触者となった人など当日受付で確認をしないと出席者の人数が確定しないので不安になりましたが、幸いにも16名の出席となり一安心しました。

冠山会館の2階で大きく投影されたモニターを見て卒業式への参加となりました。定刻に講堂舞台壇上で厳かなバイオリンの演奏とともに卒業生の入場で卒業式が始まりました。まず校長先生より今回の卒業生の現状を紹介され「自分を大切にしてこれからの世の中に船出してください。」と諭され、小林冠山会々長より、卒業して冠山会に入会されますが、郡高で学んだ精神を忘れず冠山会に協力をお願いして饒とされました。卒業証書の授与では担任の先生より一人ひとり氏名を呼ばれ校長先生よりクラス毎代表に授与されました。在校生からお世話になった先輩へ

感謝の送辞、次に卒業生から3年間お世話になった先生方へこの大変な時期に温かいご指導を受けたことに感謝し後輩にはコロナ禍のなかこれからも負けずに頑張つて欲しいと激励の答辞を聞き、郡校生の誠実で強さを心の奥に秘めた姿を見て感激の卒業証書授与式であった。そのなかでも私が一番感激したのは、卒業生が退場した後のことでした。教務主任の先生が残られた父兄に向けて感謝の言葉を送られ、修学旅行の話になった時に急に胸を詰まらせ「このまま話が続けられるか自信がないけど頑張ります」と言って話された。おそらく修学旅行に反対の意見もあったのだろう。コロナ禍のなか何とか生徒に修学旅行をさせたいと言う強い思いから、感染防止の対策をしながら、日程や、行き先のこと、どのような旅行ができるのか、長い話し合いを行い当初計画した旅行とは程遠い物となったに違いない。中止を決めてしまえば手間もかけず苦勞もなかったはずだが、先生方の苦勞と生徒達への強い思いのおかげで無事修学旅行を終えることができた。その時先生が生徒に最初の計画通りの旅行にならなくてすまなかったと謝罪されたそう。すると生徒達が「先生あやまらんといてください。修学旅行に行けただけで充分です。」と答えた先生は涙を抑えて話

された。こんな困難な時にこそ先生と生徒のつながり、「絆」が大切だと言うことを、本日卒業式に招待されて教えられました。これからも郡山高校が学力、人間性においても名を上げられますよう心よりお祈り申し上げます。最後に卒業50周年にすばらしい卒業式に招待して頂き感謝を申し上げます。



卒業50周年を迎えて

池上 由起男（昭和47年卒）

今年の3月1日は朝からどんよりと曇り、卒業式が終わる頃には本降りの雨になっていました。ハレの卒業式に、ちよつと気の毒な気がしましたが、卒業生たちはみな晴れやかな表情で式に臨んでいて、安心しました。

私たち50周年卒業生たちは冠山会館2階でのリモート参列となったので、モニター越しにマスク姿でしか見られなかったのですが、その眼を見るだけでも表情はうかがい知ることができました。

私は長年県立高校教員として多くの学校で勤め、いろんな高校生たちの入学から卒業までの姿を見してきました。どの学校もそれぞれ校風や生徒たちの持つ雰囲気には個性があると感じています。我が郡高は、地味ではありますが、まさに「誠実・剛毅・雄大」の校訓を体現する若者たちを輩出してきました。

半世紀を経ても、私たちの頃と変わらぬ郡高生の姿が拝見できて、心温まる思いがしました。

今年の卒業生たちの今後の活躍と幸せな人生を祈ります！

2022年3月

昭和48年卒業生のみなさまへ

「新しいスタイルの冠山会総会

・学年同窓会に向けて…」

阪本 裕紀子（昭和48年卒）

昭和47年卒業の1年先輩から「…残念ながら新しいスタイルの冠山会の総会に協力することは叶いませんでした。48年卒の皆様から後に続く学年がそれぞれに冠山会と連携して総会を盛り上げていただくことを…」とバトンを渡されて、冠山会総会・記念講演（荒井敦子さんのコンサート）、そして、学年同窓会をコラボして開催する準備を進めてまいりました。

私も冠山会の役員として、特に学年同窓会開催には2年間にわたり、延期に次ぐ延期が、「中止」となり、関係先にはご迷惑をおかけしたと誠に申し訳なく遺憾に思っています。また、学年同窓会幹事としてご尽力いただいた秦・梅谷両氏には感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナウィルス感染症の動向をみながら、「開催」「中止」の判断を下すのが非常に難しく、冠山会役員会、学年同窓会幹事で見解が分かれました。結果的には「中止」となりましたが、コロナ禍での判断の難しさであり苦渋の決断により決定したことをご理解していただきますようお願い申し上げます。

そして、コロナ収束後は、後に続く学年が冠山会と連携して総会を盛り上げていただくことをお願い致します。

お知らせ！

昭和48年卒業の方は、卒業50周年に当たります。

昭和48年3月卒業生の皆さんへ

来年の卒業式（令和5年3月1日）に招待されます。

おめでとーございます

令和3年褒章受章者

春の褒章・叙勲

瑞宝 双光章

山田 勝美

元公立中学校長

昭和40年卒

吉川 裕子

行政相談委員

昭和35年卒

瑞宝 単光章

中野 英昭

元日本郵政公社職員

昭和48年卒

秋の褒章・叙勲

藍綬褒章

中田 昭夫

元西和警察署少年補導員協会長

昭和31年卒

旭日 双光章

二宮 英敏

元県交通安全協会副会長

昭和32年卒

松本 真理子

元県教育委員長

昭和41年卒

瑞宝 双光章

岩田 憲一

元公立中学校長

昭和41年卒

川田 真由美

元公立小学校長

昭和41年卒



集まれ古稀の同窓会へ

昭和46年卒 日高 容子

卒業50周年に学校から招待を受け、このコロナ禍の時にです。ありがたくもあり、うれしくもあり、しかしながら当日母校に戻った人の数は少なかったかも知れません。それはその式典の後、できるはずの同窓会が、絶対無理であることがわかっていったからでした。

久しぶりに顔を見てなつかしくなったら、どうしてそのまま帰れまじょうか。少しでもほんの少しでも時間をとって話したい、一緒にの時間をすごしたいと思うのが人としての情というものでしょう。それが始めから無理であることがわかっていいるから来られなかったのですね。だからこそ、必ず再会する機会を作らねばと強く思ったのです。

コロナがおちついたら、感染者の数が「0」になったら……いつですか、いつその夢のような時がくるのでしょうか。否、インフルエンザのようにその度にワクチンを打って重症化しない方法をとる、感染したら即病院

で受診をし薬を処方してもらうことでのしるようになるのでしょうか。先の見えない中、私たちは今年古稀を迎えます。

古稀になったら、古稀の年には必ず必ず同窓会をしましょう。7年ぶりの同窓会です。秋には収まっていてほしいものです。せめてみんなが古稀になる3月中までには開きたいと心から思います。

会えないつらさ、しゃべれないさびしさ、コロナのせいで悔しい思いをしているんですもの。いつ……それがまだ何も見えてこないから予定をたてて、皆様に声がけできないもどかしさにさいなまれていきます。

秋といわず師走と決められず、今年度中には絶対集まりたいものです。

感染対策は必ずします。黙食もします。もちろん話す時にはマスクは必須ですし、ワクチンも3回打ちました。予防したうえでいいので、必ず年内には会いましょう。きついですよ。

直接会っていっぱい話して、笑顔で再会できることを心から強く願っています。何としてでも同窓会ができるように、晴れることを願ってつるすてる坊主みたいにできることがあるなら、みんなで一致団結してとりくみますから！

是非是非、お集まり下さいませ。今まで一度も来たことのない人も、今回だけは来てほしい

な、顔を見せてほしいな、50年以上前の自分に戻ることができるとのですから……。

昭和58年卒業3年2組 卒業40年の春に向けて

昭和58年卒業生 学年同窓会
幹事(3年2組)一同

これまで隔年で行っていた学年同窓会は、コロナの影響で一昨年延期になりました。そんな中、「大和郡山市の折り紙金魚募集」活動がある卒業生の目にとまりました。昨年の「冠山会だより」に掲載された活動です。

折り紙金魚のその後ですが、大和郡山市の上田市長にお話を聞くことができました。

金魚で世界を救おう！

「二日も早く元の生活に戻るように願いを込めて折りました」「介護施設の利用者で折りました。皆さんに笑顔が戻りました」

一昨年、折り紙で作る「千尾金魚」の運動が全国各地に広がるなか、郡山高校昭和58年卒業生が母校の地元思いを込めて折っていた2500尾の折り紙金魚は、今も静かに私たちを見守ってくれています。

卒業生の皆さんとご縁にあためて感謝するとともに、8月22日に行われる『金魚大好きまつり』や夏の『全国金魚すく

い選手権大会』で展示させていただきます。たく予定です。

力を合わせて前へ！
コロナ禍の一日も早い終息を願っています。

令和4年4月吉日

大和郡山市長 上田 清



来春、私たちの学年は卒業40年を迎えます。そこで、SNSを通じて「五七五七七」の調べに乗せて「在学時の思い出を振り返ることを呼びかけてみました。目を閉じれば甦る懐かしい風景や旧友の笑顔。まさに40年前の春、野球部の選抜甲子園出場、サッカー部の近畿大会出場も経験しており、そんな思い出が数多く寄せられています。

●郡山その響きだけで青春に
●忘れない恩師に出会った郡山
●今もなお楽しき時を思い出す
●電車より坂眺む間に四十年
●同窓会と書いてノスタルジーと読み
●卒アルに何人いるかな聖子ちゃん
●夏休み校舎の廊下で受験勉強
●無理でした数Ⅲ物理無理でした
●駆け上がる古き校舎の段の音に流る『不思議なビーチパイル』



第34回近畿高等学校サッカー選手権大会
557.3.26から 於和歌山

●売店で早い者勝ちお好みパン
●昼ごはん清食堂はなうどん
●うなぎ堀桜と並走陸上部
●野球部のまわりがトラック陸上部
●サッカー部試合は100%アウェーで涙
●宙に舞う春の夢咲く野球帽
●野球部が甲子園へと選ばれし
●我がサッカー部近大初出
●皆の想い届けと折った千羽鶴
●野球とサッカー楽しき青春

●アルプスも一心同体郡高音頭
●ファンファーレ郡高音頭で盛り上がり
●無死満塁もう帰りたい初回守備
●無死満塁もう見られへん初回守備
●高知商いつたい何点取られるの
●思っていたのに校歌斉唱
●取材受けスターと錯覚春の夢
●隙閉じ音頭が響くアルプスに
●準々は夢かまことか午後の桜花
●大太鼓響く城跡突き千本
●蟬になり想いを叫ぶ松の枝
●涙ぐむ最後のエール鴻池
●ひたすらにクレール売った文化祭
●もう時効クレールの粉は菊屋から

- ツマミ食いしとけばよかった菊屋とは
- DOMDOMと不二家が行きつけ女子トーク
- 雨の日やちよつと背伸びの隠れCASA
- 腹へったコロッケ食べた帰り道



- 啓林堂今も健在奇跡かな
- 帰り道近鉄国鉄チャリ(自転車)歩き
- 帰り道桜に誘われ学舎へ
- 郡高があつて良かった私の人生友と出逢えた素晴らしき場所
- いかででしたでしょうか。他学年のみなさまは、在校時どんな思い出がありましたか。

昭和58年卒業生のみなさま！
現在、3年2組幹事会では、来春の卒業40年を記念して、コロナ後初の学年同窓会開催を目指し、再び計画に着手しています。乞うご期待です。またお会いできる日が楽しみです。

現職の郡山高校関係者のみなさま、学年同窓会の次回開催においては、当初より「郡山高校内イベント」の企画を進めておりま

ゴミ拾い、SNSピリカ楽しんでます

昭和61年卒 M・F

2019年10月上旬、毎年恒例の北アルプス縦走から戻り「楽しかったな。来年はどのルートを登ろうかな」と余韻に浸っていた頃、台風19号の豪雨で千曲川が氾濫し長野県が被災しました。それまでは災害ボランティアに行く勇氣もありませんでした。遊びには行くけど長野が困っている今、知らん顔するのとは後ろめたさを感じ一大決心、初の災害ボランティアに参加しました。温暖化など環境問題に関心は持っていました。現場に入りその影響の大きさを自分の目で見て、自分の手足を動かしたのはそれが初めてでした。

自宅に戻ってからもうわずかなことでも何か行動したいといううずいていると、偶然「ゴミ拾いSNSピリカ」に出会いました。すぐに「これだ」と翌日から早速始めました。

ここで「ピリカ」を簡単に説明します。拾ったゴミの写真を投稿すると「ありがとう」「お疲れさま」などのコメントが届き、ゴミ拾いの輪を広げゴミの自然界流出を防ぐという目的のアプリです。これは(株)ピリカ



リカの代表が京大大学院生だったころ、友人と立ち上げたSNSでそのまま起業され現在11年目くらい、環境大臣賞も受賞されています。

SNSの参加者は保育園児からご年配の方まで様々な年代の個人に混ざって企業や団体も。海外からも。通勤途中に、休日に、犬の散歩ついでに、ツワモノはランニングしながら。街で田んぼ道で川で海岸で。拾うゴミは1個でも大丈夫。

さてピリカを始めた私は当初人目が気になり隠れるようにコソコソとしか拾えませんでした。投稿の際そのことをコメントすると「人目を気にしてゴミが拾えるか」「悪いことしているわけなし。堂々と拾え」と激励のコメントを多数頂き、これで開き直りスイッチが入りました。

そんなスタートからただ今年4か月目、ピリカがすっかり日課になりました。

また他の方の投稿写真から日本の川や海が想像以上にプラゴミで汚されていることを知りました。特に意外だったのは瀬戸内海です。日本の河川から流れ出すゴミで瀬戸内海が汚されていることをピリカを通じて知りました。

私も奈良盆地を流れる富雄川に初めて川掃除に入ったときはビニールゴミの堆積による酷い汚れに胃が気持ち悪くなったのを覚えています。それから堰や草

木に引っかけたゴミを次の雨で下流に流さないようにできる範囲で拾っています。一雨ごとにこんなに流れてくるかとあきれるばかりですが、自分にできることはやろうと続けています。

また普段上から眺めている川に降りると視点が変わり川の中からの景色も楽しめます。草木が生えている岸辺では小さな生き物を発見して嬉しくなったり。川掃除のごほうびですね。

ゴミを拾いながら道を行くと自分の進行方向は汚れても振り返ると綺麗になっています。

これも「してやったり」と小さな達成感が得られます。また「ゴミを拾いながら歩く」と年配の方はじめ小学生、女子高生、若いお兄さんが「ありがとうございます」と声をかけてくれたり会釈してくれたり。これもゴミ拾いの特権ですね。

時間がかかってしまう日もあったり、拾っても拾っても捨てられたり、酷い不法投棄に怒りが爆発しそうになったり、そんなこんなでもピリカに投稿して共感してもらいながら、また各地で奮闘する方々の投稿に元気をもらいながら続けています。

そうこうしていると昨年、県内外から川掃除の応援にやって来てくれました。

この1年は広陵町の方と月1回高田川と富雄川の掃除をコラボで行っています。また今年の2月からは大和郡

山市がピリカの地域サポーターとして参加されたので、市内のピリカの利用者さんと一緒に活動できるようになりました。

またボランティア保険に加入してピリカに投稿しているとピリカがボランティア証明書を発行してくれるので、いざという時安心ですね。

さて次の日曜日には高田川でコラボピリカです。今回は横浜からもピリカの仲間が駆けつけてくれて14名が集まる予定。今からワクワクしています。



2022年5月 新緑が眩しい高田川にて



郡高応援團

郡魂会郡高応援團OB会として

平成5年卒 川北 啓司

「ワッショイ！ワッショイ！」、炎天下のスタンドに響く太鼓、吹奏楽の演奏、そして観衆のどよめき…。私の脳裏からその光景が消え去ることはありません！

在学中は、郡高応援團の団員としてたいへんお世話になりました。平成5年（1993年）卒業の川北啓司（現在47歳 田原本町在住）と申します。（押忍）（伝）創設七十余年の歴史をもつ、我ら郡高応援團は、残念ながら、平成13年（2001年）7月の高校野球地区大会の応援を最後に、活動を休止しております。

応援團との出会いは、高校入学後、部活動をするか決めかねていた私が、各クラス2名ずつの男子生徒が動員されたサブリーダーに選出され、野球部の地区大会応援のため、応援團の練習に参加したことがきっかけです。

高1（平成2年）の7月、初戦は、大和郡山市営球場での対片桐高校戦。応援團の正団員の先輩方とともに、私はサブリーダーとして、試合で学ランを着させていただける予定でした。

私は、その初戦の2日前に、帰宅途中に、川にはまって、目の横を22針縫う大ケガをしたため：（痛恨！）笑：試合で学ランを着ることが叶わず、スタンドで正団員の先輩方の演舞を見学することとなりました。試合は終盤まで、7対3でリードしていましたが：9回の片桐高校さんの連打で、7対8で敗退してしまいました。

大ケガのため、試合で学ランを着れなかった悔しさ：この試合での正団員の先輩方のカッコイイ姿が目にとやきつき：これぞ「男の美学」と思い、また、学ランの襟につける「郡高応援團バッヂ」にあこがれて、試合終了後、応援團の正団員として入団しました。



郡高応援團バッヂ

郡高応援團は、試合の時には、團室講堂下にありました郡高応援團の部室を出ると、試合が終わって團室に帰ってくるまでの間、「球場までの電車やバスの中では座らない、会話・笑顔は厳禁、歯ひとつ見せない、汗もぬぐわず」を徹底しています。よって、テレビインタビューも無視する郡高応援團です。こんな応援スタイルは、令和時代の高校生むけじゃないですが、当時の郡高応援團のこのスタイルに、自ら惚れ込み、後輩達に継承し

なければならぬ責務を背負って3年間、過ごしました。負ければ、3年生の最後の夏が終わってしまふ：毎日の練習の際も、もちろん笑顔厳禁での切り詰めた空気の中で、「本番は1回しかない：」を意識した真剣勝負の練習でした。帰宅すれば、毎晩、鏡の前で演舞の練習をしました。私の在学中の3年間は、甲子園出場はできませんでしたが、根性、忍耐力を養った3年間は、卒業して約30年経った今でも、私の宝物です。

野球の試合で皆様方に披露する郡高応援團の演舞ですが、みなさんがよくご存知の「郡高音頭」や「ファンファーレ」は、重心を低く落とした状態を維持しながらしなければならず、強靱な足腰が必要で、また、動きが速いため、1分やっただけで、息切れるぐらい、皆さんが想像する以上に根性と忍耐力のいるものです。試合で演舞を失敗しないよう、バテないよう、かなりきついファンファーレと郡高音頭を



右：團長 左：全一拍子をする私(高3)
平成4年(1992年)7月 対 畝傍高校戦
(大和郡山市営球場)

30分以上やり続けるような過酷な練習が毎日、続きましたが、しんどい想いをした分だけ、カラダにしみついており、私は、卒業して30年経っても、応援團の演舞をすることができます。

さて、この記事のタイトルにあります郡魂会(ぐんこんかい)とは、我々、郡高応援團OB会の名称です。

冠山会会員の皆様には、4年前の平成30年(2018年)5月4日、DMG MORIやまと郡山城ホール大ホールで開催されました、「郡高吹奏楽部創部60周年記念コンサート」での郡魂会の勇姿をご存知の方もいらっしゃるでしょう。

我々、郡魂会の郡高応援團OB15名が、学ランをレンタルし：内容は、平成10年(1998年)3月の春の選抜高等学校野球大会準々決勝対横浜高校戦(松坂大輔さん率いる当大会優勝校)の映像をスクリーンに映しながら応援する内容で、城ホール超満員約800名のお客様の前で：～応援歌～ファンファーレ～郡高音頭～そして校歌斉唱～という内容で、吹奏楽部OBの皆様方約100名の演奏とともに、甲子園球場アルプススタンドでの応援を城ホールで再現しました。私にとって、夢のような時間でした。

あの時、川にはまって大ケガ

をし、悔しい想いをしていたなかつたら：先輩方の姿や援團バッヂにあこがれていなかったら：今の自分はないだろう：吹奏楽部OBの皆様方をはじめ、全ての関係者の皆様に感謝：郡高の卒業生でよかった：郡高応援團に入団してよかった：と、つくづく感じた瞬間でした！



▲「吹奏楽部創部60周年記念コンサート」での応援歌【私(左)】
平成30年(2018年)5月4日、DMG MORIやまと郡山城ホール

母校に対して、何かお役に立ちたいと思っていた私は、令和4年3月19日に開催されました冠山会役員会にて、冠山会幹事として、先輩方にお招きいただきました。先輩方のご縁に感

謝です！

来年には、郡山高校創立130周年(令和5年10月1日)を迎えます。明治26年(1893年)の創立以降、郡山高校130年の歴史を振り返る機会として、昭和から平成にかけて、我が校には、一世風靡した郡高応援団があつたことを現役の郡高生の皆様にも、知っていただきたいなあと、思います。

そんな私の夢は、2つあります。

ひとつは、4年前の「郡高吹奏楽部創部60周年記念コンサート」で披露させていただきましたような演奏を、機会があれば、学ランを着て、今度は、ぜひ、郡高の講堂で、現役郡高生1100人の前で披露したい！…という夢です。我々郡魂会には、前述のとおり、現在、伝統を継承する現役生徒の後輩はいません。しかし、郡高応援団の演奏は、カラダにしみついており、何十年経った今でも、することが出来ます。「郡高吹奏楽部創部60周年記念コンサート」での郡魂会の演奏はYOUTUBEで見ることが出来ますが、郡高応援団の迫力をぜひ、ナマで披露し、創立130周年の機会に、過去と現在を繋げたいという想いがあります。

そして、もうひとつの夢は、野球部OBがマスターズ甲子園の

本戦出場を果たした際には、甲子園球場のアルプススタンドで、郡魂会が学ランを着て、吹奏楽部OBの皆さんとともに、当時の郡高応援団スタイルで、野球部OBを応援したい…これが私の夢です。



野球部OB(マスターズ甲子園奈良県予選)
(佐藤薬品スタジアム)

最後に…現役郡高生の諸君！仲間を信じ、部活動等を通じて、楽しい高校生活を送ってください。そして、かけがえのない仲間をつくってください。私は、年に数回、こっそり、桜花グラウンドのネット裏に練習を見に行っています。野球部の皆さん、卒業後は、軟式球になります。先輩方とともに、マスターズ甲子園の本戦出場を目指してください。私たち郡魂会は、郡高の大ファンです。そして、これから、一生、郡高応援団です！

卒業生の今

● 中本 孝則(平成17年卒)

私は、現在教員として郡山高校に勤務して五年目になります。平成十七年に郡高を卒業し、再び母校で過ごすことができていることに喜びを感じながら、日々生徒達と学校生活を共にしています。昨年度に東京の日本武道館で開催された全日本剣道選手権大会に出場しました。奈良県予選に挑戦し始めて十一年、念願の優勝を果たし本大会に初出場しました。

食べたたり、郡高での三年間は本当に実りある日々で、まさに青春そのものだったと思います。剣道部は部員が五十名程、初心者からトップレベルの者まで共に同じ武道場で汗を流し、インターハイを目指して頑張っていました。結果として目標は叶いませんでしたが、顧問の先生や仲間から学んだことは今の私の人生の核となっています。そして、「自分は剣道で日本一を目指すんだ」と改めて決意することができたのも郡高でした。

卒業してから十三年、これまた縁あつて教員として郡高に勤務することとなりました。郡高生は当時と変わらず学業に部活動に必死で毎日過ごしています。剣道部員も稽古熱心であり、インターハイや国民体育大会、全国選抜大会など全国大会に出場して頑張ってくれています。高校時代の自分の姿と重ねて、生徒達を「すごいな」と思うと同時に「うらやましいな」とも感じることもあります。教員として生徒の成長をサポートすることにやりがいを感じ、反面、自分自身、選手としてはもうそろそろ厳しいなと思っています。そんな折、

新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日常を一変させました。目標を奪われた生徒達にかけける言葉が見当たりにませんでした。「目の前のことをまず精一杯やろう」と伝えましたが、その言葉を自分自身に向けて、堂々と生徒に伝える自分ではありませんでした。そこから短時間でも毎日必ず自分の剣道を見つめ直す時間を持ちました。そのような意識で一年半過ぎし挑戦した奈良県予選で優勝を果たすことができました。「諦めずに掴み取った」というよりは、自分のできることにコツコツ取り組んでいたら転がり込んできたような出来事で、続けていけば良いこともあるもんだなとありがたく感じています。

努力が報われないことはたくさんありますが、日々目の前のことに一生懸命取り組むことで、昨日の自分よりも何か変わっていくことだけは間違いないことです。苦しいことやうまくいかないことも受け止めて、それでも一歩ずつ進んでいけるようになりました。

清掃ボランティア

(令和3年12月4日実施)

いつものように、12月4日の土曜日、学校からは土井校長に長田・津浦両教頭、吉岡・木村先生の5名に参加して頂き、共に汗を流して頂きました。

又、毎年遠方の宇陀からは、本業が林業という正にプロの大門さんが必ず機材を持って来てくれます。常連のように家郷さん、「ここ片づけなければ危ないよ。」と小運動場の隅や、ある年には冠山会館への渡り廊下の屋根に積もった落ち葉を取って下さったり、本当に頭の下がる思いです。朝、お二人の顔を見ると今年も来て頂いた事にありがたく、ホッとする自分があります。他にも、わざわざ冠山会だよりを見たからと進んで参加頂く方々もおられ、「郡高愛」を感じる瞬間です。

ここにも新型コロナウイルスの影響があつて、普段であれば土曜日は休みなのですが、いつもの中庭へは立入れないので、南門を中心に雑草や低木を刈って頂きます。昼ごろには、うっそうとしていた冠山会館周りや月桂樹もすっきりとなり、気持ちよくなった南側玄関が現れました。正に皆さんのご尽力の賜と心から感謝申し上げます。

全員で19名の参加を頂き今年もさわやかな年末を迎えられそうです。本当にありがとうございます。心から御礼の気持ちをこめて報告と致します。

(日高)



冠山会歴史愛好会散策実施の見合わせについて(ご連絡)

冠山会員・歴史愛好会員の皆様にはますますご健勝でつつがなくお過ごしのことと拝察いたします。

現在のところ、コロナ感染症の収束が不透明なことから、歴史愛好会の散策実施をしばらく見合わせます。

今後コロナ感染症の心配がなくなり、散策が可能になれば、あらためてご案内いたします。

歴史愛好会案内担当

前冠山会副会長 元奈良県高等学校歴史教育研究会会長 吉田一男
元冠山会長 元奈良県高等学校歴史教育研究会会長 竹村 隆

(文責 竹村 隆)



冠山会へのご協力お願い

“冠山会だより”の発行事業は会員(卒業生全員)の協力金¥2,000/年で運営されています。

“冠山会だより”は我々3万有余の卒業生をつなぐ唯一の糸であります。100才以上の方から新卒業生まで、こんなにも広く同じ母校を巣立った友とつながっていると思えば、すばらしい事だとは思われませんか？こんなにも多くの同窓生に全員配布されているのは珍しいと聞きます。

是非とも、この“冠山会だより”の発行事業の存続のため、協力金の振込みを、よろしくお願い申し上げます。

なお資金集めのため“冠山会だより”に企業広告を掲載していただける方を募っていますのでよろしくお願い致します。

〇〇株式会社

冠山 太郎 S〇年卒

1マス ¥5,000

約9cm × 約5cm

文武両道

進路目標を実現するために これからの「学び」と大学入試

現在、AIの技術など劇的に進化したデジタル関連のテクノロジーを活用し社会を改善、革新しようと世界全体が進んでいます。また、世界的な課題としてSDGsに代表されるsustainable（サステナブル：持続可能）な社会づくりや環境問題などに対して、既存の社会経済の仕組みでは十分に対応できない時代となっています。そういう点で未来社会は予測不可能といえますが、さらに新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより一層深刻化しているように思われます。今後の私たちの在り方や生き方を考え直さねばならない状況の中で、高校生として単なる目先の進路目標だけでなく、その先の将来を見据え、自分は何をやりたいのか、どんなことをやろうとするのかを真摯な態度で考えることが求められています。

高校においても、これからの時代に必要となる資質・能力が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という「資質・能力の三つの柱」に整理され、それに伴い高校では「観点別学習状況の評価」が本格的に導入されています。そして、大学においても単なる知識ではなく学び方を学び、問題解決力を身に付けることが求められています。そして文系・理系の枠組みだけでは解決しがたい様々な社会課題に対応するために文理融合を図る学部や学科が増えています。

このような中で、大学入試においても思考力や判断力を測る新傾向の問題が増加しています。2年目を迎えた大学入学共通テストにおいても、全体的によく読ませて、よく考えさせる問題、つまり「知識・技能」中心から「思考力・判断力」を測る問題へと変わってきました。例えば数学において会話文で構成された問題が出題されました。これは単純な数学の力だけで対応できるものではありませんでした。

こうした動きは総合型選抜と学校推薦型選抜になった従来からのいわゆる推薦入試にも大きく現れています。国公立大学でも後期日程の募集停止や募集人員が削減され、その分を総合型や学校推薦型に移行する傾向にあります。また入試内容も高校での成績や活動内容、面接や小論文、学力検査に口頭試問や自己PRなど、個性や適性、意欲など総合的な人物評価が行われています。

このような入試も含めた様々な変化に対応していくためには、どの科目でも日本語を速く正確に読んで理解する能力が必要です。そのために「読みたい本だけを読む」のではなく、「今まで読もうと思わなかった本も読む」という習慣を身につけること、各科目の学習だけではなく世の中の動きや情報を察知することなどが求められます。日頃から読書・新聞等から知識を身につけ、自分の頭で考えることは重要です。

社会で求められることを大学入試が反映するのはいつの時代でも同じです。入試制度などが変革しても自ら考え、自律し、行動することが必要であることは変わりません。生徒一人ひとりが自分自身を見つめ直し、夢や希望を持ち、その実現のために具体的に努力することが何よりも大切であると思います。

2022年度卒業生の進路状況

■ 2022年度大学入試等 合格者数（延べ数）

国公立大学	合格者数	国公立大学	合格者数	私立大学	合格者数	私立大学	合格者数	私立大学	合格者数	準大学・その他	合格者数
北海道	1	兵庫県立	3	東京電機	1	龍谷	91	桃山学院	3	防衛大学校	1
弘前	1	奈良教育	14	東京理科	2	立命館	124	森ノ宮医療	5	海上保安大学校	1
東北	1	奈良県立	5	東洋	2	追手門学院	6	大和	12	京都中央看護保健大学校	1
筑波	1	奈良県立医科	4	日本	4	大阪医科薬科	4	関西学院	38	海上保安学校	1
千葉	2	奈良女子	3	法政	2	大阪経済	6	神戸学院	2	合 計	4
横浜市立	1	和歌山	3	立教	4	大阪経済法科	1	神戸女子	4		
金沢	1	鳥取	3	麻布	1	大阪芸術	3	兵庫医科	1	短期大学	合格者数
信州	3	岡山	1	神奈川	3	大阪工業	18	武庫川女子	15	大阪芸術大短大部	1
三重	6	広島	1	藤田医科	1	大阪産業	2	畿央	51	武庫川女子大短大部	1
三重県立看護	1	徳島	3	京都華頂	1	大阪商業	1	帝塚山	4	合 計	2
滋賀	2	愛媛	2	京都外国語	1	大阪女学院	1	天理医療	3		
滋賀県立	4	高知工科	1	京都産業	37	関西	161	奈良	3	専門学校	合格者数
京都	1	佐賀	1	京都女子	37	関西医科	5	奈良学園	1	那覇看護専門学校	1
京都教育	1	合 計	131	京都精華	3	関西医療	1	福岡	1	大阪ベルビュー美容専門学校	1
京都工芸繊維	1			京都先端科学	1	関西外国語	8	サンタバーバラカレッジ(米国)	1	放送芸術学院専門学校	1
京都府立	4	私立大学	合格者数	京都橘	6	関西福祉科学	1	合 計	1,034	彩ビューティーカレッジ	1
大阪	8	青山学院	1	京都ノートルダム女子	2	近畿	169			合 計	4
大阪教育	10	北里	1	京都薬科	4	四天王寺	5				
大阪公立	20	順天堂	1	同志社	108	摂南	11			就職	合格者数
神戸	16	成城	1	同志社女子	38	阪南	5			三宅町役場	1
神戸市外国語	2	中央	1	佛教	2	梅花女子	2			合 計	1

令和3年度
クラブ活動の記録

令和3年4月から令和4年2月まで

【体育部】

◆陸上競技部◆

○奈良県選手権

400mH 女子4位

4×100m 男子5位

4×400m 男子6位

○全国高校総体県予選

200m 男子4位

800m 男子4位

400mH 女子3位

4×400m 男子4位

円盤投 男子4位

○近畿高校ユース県予選

【二年の部】

走高跳 女子3位

円盤投 男子3位

【一年の部】

走幅跳 女子1位

三段跳 女子1位

ハンマー投 男子2位

○県高校駅伝

女子 9位

男子 1区3位

【区間賞】 4区3位

◆野球部◆

○令和3年度春季県大会 ベスト8

○第103回選手権奈良大会 ベスト8

○令和3年度秋季県大会 1回戦

◆ソフトテニス◆

○令和3年度 全国高等学校選手権大会兼全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス競技)兼近畿高等学校ソフトテニス選手権大会奈良県予選会

女子団体の部 第5位

(近畿大会出場)

○令和3年度奈良県高等学校ソフトテニス学年別大会

男子2年生の部 個人第3位

○令和3年度奈良県高等学校ソフトテニス新人大会

男子団体の部 第5位

男子個人の部 ベスト16

(2ペア 近畿大会出場)

◆バレーボール部◆

○春季選手権大会

男子 郡山2-0西大和

郡山0-2法隆寺国際

女子 郡山2-0奈良北

郡山0-2奈良女子

○全国高校総体県予選

男子 郡山2-0生駒

郡山0-2添上

女子 郡山0-2添上

○全日本選手権大会県予選

男子 郡山0-2育英

郡山2-0県立商業

郡山0-2奈良女子

◆柔道部◆

○第31回奈良県高等学校柔道錬成大会

男子60kg級 第3位

○第63回近畿高等学校柔道新人大会

奈良県予選 第3位

男子60kg級 第3位

※第63回近畿高等学校柔道新人大会に出場(兵庫県姫路市で開催)

◆バドミントン部◆

○春季大会

女子ダブルス 第3位

○インターハイ予選

女子団体 第3位

○近畿予選

男子ダブルス 第3位

○ソフトボール部◆

○近畿大会県予選

第2位

○インターハイ予選

○近畿大会

○インターハイ

○三県大会

出場

優勝

◆卓球部◆

○選抜卓球大会

女子学校対抗 ベスト8

○近畿新人卓球大会

女子学校対抗 出場

○ハンドボール部◆

○春季選手権大会

男子 ベスト4

○インターハイ予選

男子 ベスト4

女子 ベスト8

○選拔予選

男子 第2位

女子 (選抜近畿予選出場権獲得)

◆サッカー部◆

○インターハイ予選

○全国高校サッカー選手権予選

○県U-18リーグ 1部 9位

○新人大会

ベスト16

○ホッケー部◆

○全国高校総体県予選

男子 第3位

女子 第2位

○近畿大会

男子 出場

女子 出場

○選抜県予選

男子 第3位

女子 第3位

○県新人大会

男子 第1位

女子 第1位

◆弓道部◆

○令和3年度奈良県高等学校弓道選手権大会(国体予選会)

女子近目的の部 1位

女子遠目的の部 2位

女子総合の部 1位

女子総合の部 2位

○令和3年度国体弓道競技少年の部最終選考会

国体候補選手2名選出

○令和3年度全国高等学校総合体育大会第66回全国高等学校弓道大会兼第74回近畿高等学校弓道大会県予選

女子団体 1位

女子個人 1位

女子個人 3位

女子個人 4位

女子個人 5位

女子個人 10位

○第74回近畿高等学校弓道大会(兵庫県立弓道場 明石市)

女子団体 出場

女子個人 5名出場

○第66回全国高等学校弓道大会

インターハイ(新潟県謙信公武道館 特設弓道場)

女子個人 準決勝進出

女子団体 全国第4位入賞

○第76回国民体育大会

近畿ブロック予選 第2位

出場権獲得

奈良県チーム国体選手

○第40回記念全国高等学校弓道選抜大会県予選兼第29回近畿高等学校弓道選抜大会

男子団体 2位

女子団体 3位

女子個人 4位

○第40回記念全国高等学校弓道選抜大会近畿予選会

男子団体 1位

全国高等学校弓道選抜大会出場権獲得

○第29回近畿高等学校弓道選抜大会(橿原公苑弓道場)

男子団体 出場

女子団体 予選通過

女子個人 1名出場

1回戦敗退 ベスト8

○第40回記念全国高等学校弓道選抜大会(茨城県水戸市アダストリア みとアリーナ 特設弓道場)

男子団体 予選7中通過

◆水泳競技部◆

○第75回奈良県高等学校選手権水泳競技大会兼近畿高等学校水泳競技大会奈良県予選大会競泳競技の部

男子総合 第2位

女子100m自由形 第8位

男子100m背泳ぎ 第6位

男子200m背泳ぎ 第5位

男子200m個人メ 優勝・第5位

男子4×100mリレー 第2位

男子200m背泳ぎ 第7位

女子200m背泳ぎ 第7位

男子200mバタフライ 優勝

男子400m個メ 第3位

男子4×100mメリレ 第2位

男子50m自由形 優勝

女子50m自由形 第8位

男子100m平泳ぎ 第6位

女子100m平泳ぎ 第6位

男子100mバタフライ 第5位

女子100mバタフライ 第6位

男子4×200mリレー 第2位

○第75回近畿高等学校選手権水泳競技大会

前記入賞者出場

○第28回奈良県高等学校新人水泳競技大会兼第5回近畿高等学校新人水泳競技大会奈良県予選大会

男子総合 第2位

男子50m自由形 第3位

第7位

- 女子400m自由形 第8位
男子50m背泳ぎ 第2位
女子50m背泳ぎ 第5位
女子50m背泳ぎ 第2位
女子50m平泳ぎ 第7位
男子50m平泳ぎ 第8位
男子100m平泳ぎ 優勝
女子50mバタフライ 第2位
男子50mバタフライ 第7位
女子100mバタフライ 第7位
男子200m個× 優勝
男子4×100mフリーリレー 第2位
女子4×100mフリーリレー 第7位
男子4×100mメリレ 第3位
女子4×100mメリレ 第7位
第5回近畿高等学校新人水泳競技大会 前記入賞者出場
- ◆**剣道部**◆
○全国高校総体県予選
女子団体 第6位
男子団体 第2位
男子個人 第3位
○近畿高校剣道大会
女子団体 出場
男子団体 出場
男子個人 出場
- 県高校新人大会
男子団体 第2位
女子個人 第3位
○全国高校選抜県予選
男子団体 ベスト8
○国民体育大会
男子 出場
- ◆**山岳部**◆
○全国総体予選
・矢田丘陵、高取山
男子団体 チーム① 1位
チーム② 2位
- 全国高校総体・福井県(三頭山・取立山) 男子団体 37位
○県新人登山大会・高見山 1位
- 【**文化部**】
◆**吹奏楽部**◆
○第45回定期演奏会 開催
○水無月コンサート 出演
○第63回奈良県吹奏楽コンクール
高等学校の部J 銀賞
高等学校の部A 金賞
○第34回奈良県マーチングコンテスト
高等学校以上の部 金賞(奈良県代表)
○第49回関西マーチングコンテスト
高等学校以上の部 銅賞
○第36回県高総文祭吹奏楽部門 優秀賞
○第49回奈良県アンサンブルコンテスト
高等学校の部 木管三重奏 金賞(奈良県代表)
○第48回関西アンサンブルコンテスト
高等学校の部 銀賞
- ◆**合唱部**◆
○5月3日(月・祝)
第14回郡山高校合唱部定期演奏会
(DMG MORIやまと郡山城小ホール)
○8月5日(木)
第88回NHK全国学校音楽コンクール奈良大会出場 銀賞受賞
(さざんかホール)
○8月5日(木)・6日(金)
第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会(和歌山市民会館)
奈良県選抜女声合唱団として3名参加
○8月11日(水)
第31回奈良県合唱コンクール出場
銀賞受賞(さざんかホール)
- 11月6日(土)
第36回奈良県高等学校総合文化祭参加(さざんかホール)
○11月20日(土)
第36回近畿高等学校総合文化祭滋賀大会出場(守山市民ホール)
○12月19日(日)
第15回奈良ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場 銀賞受賞
(さざんか小ホール)
- ◆**放送局**◆
○第36回奈良県高等学校総合文化祭放送部門
「朗読部門」 奨励賞
- ◆**華道部**◆
○流派「甲州流」
活動場所 校友会館・文化祭にて展示発表・玄関、校長室、昇降口に展示
- ◆**科学部天文班**◆
○新理化館の屋上に天体観測ドームが設置されました。本年度は旧理化館からの引越しとそれにともなう機材の選別に集中しました。ドームに釣り合う望遠鏡と架台がなく、とりあえず旧機材と野外用三脚でしのいでいるのが現状です。
- ◆**科学部電気班**◆
○WRO Japan 2021 奈良大会予選
エキスパート部門 出場
ミドル部門 審査員特別賞 入賞
- オリジナル動画の製作
文化祭、e オープンスクールで発表上映
- ◆**生物部**◆
○研究テーマ「トゲチシャの拡大を防ぐには」トゲチシャの基本情報を探る」で、日本学生科学賞
奈良県大会において優秀賞受賞。
○鷺池水生プラントクトン調査など各種実験観察を行う。
○トゲチシャの生態調査・研究、グリーンヒドラの出身に関する実験・研究を行い、日本学生科学賞、科学研究実践活動発表会等において研究発表を行う。
- ◆**写真部**◆
○出品
第41回近畿高等学校総合文化祭写真部門県代表選考会 8月
令和3年度奈良県高等学校総合文化祭写真部門 11月
第11回高校生の見た奈良大和路写真展 2月
○撮影会
談山神社・明日香村 8月
- ◆**文芸部**◆
○本年度は、少数精鋭での活動となりました。が、文章の書き手とイラスト担当、バランスよく揃っています。例年通り、春と夏に冊子を出し、文化祭にて披露・配付しました。伝統の部誌「若竹」も、今年度も春期休業中に発行する予定になっています。細々ですが、しっかり伝統を受け継いで頑張っております。
- ◆**ESC**◆
○英語プレゼンテーション大会オンライン開催 World Youth Meeting 2021にGold Award受賞(8月)
- 第72回奈良県高等学校英語弁論大会・第3回英語暗唱大会参加(11月)。
○奈良県高等学校英語部交流会イングリッシュフェスティバルに参加(12月)。
○第1回奈良県高等学校「ディベーター大会」にて優良賞受賞(12月)。
○台湾高雄市教育局主催英語プレゼンテーション大会オンライン開催 Asian Student Exchange Program 2021にGold Award受賞。
- ◆**軽音楽同好会**◆
○放課後週4日、校友会館1階で練習を行っている。
- ◆**演劇部**◆
○第36回奈良県高等学校総合文化祭演劇部門並びに第46回奈良県高等学校演劇発表会県予選 優秀賞
- ◆**美術部**◆
○柳澤神社大絵馬奉納・やまと郡山城ホール・やまと郡山図書館にて作品展示
- ◆**書道部**◆
○第22回高校生国際美術展 奨励賞 2名
○第26回全日本高校大学生書道展 高大展賞 1名
○第48回奈良県ジュニア美術展覧会 教育長賞 1名
佳作 1名

トピックス

様々な困難を乗り越えて
郡山高等学校柔道部

顧問 沢邊 浩一

私が本校に着任し、柔道部顧問になって7年が経ちました。日頃から本校柔道部のためにご支援・ご指導をいただいております山崎勝教OB会長をはじめとしたOBの方々、中でも何度となく道場に足を運んで指導していただいております寺西様など、多くの方々にまずは厚くお礼申し上げます。

現在も部室に飾られています数々の賞状やトロフィー、写真等を見るにつけ、長い歴史の中で諸先輩方が活躍された様子が窺え、いつもし身の引きしまる思いがいたします。しかしながら、7年前は3年生の女子部員が一人だけでした。その年に1年生男子2名が入部し、何とか練習を続けたものの、その後も隔年ではしか部員が新しく入部しない状況が続き、令和2年3月に2人の3年生部員が卒業した後は、新年度が始まって4月中旬までは部員がいない状況が続きました。

このような中、4月も下旬となったところ、当時新入生であった川内君が入部しました。小学校の頃、あのオリンピック3連覇を遂げた野村宏宏選手の実家である豊徳館野村道場で柔道を始めたものの、中学校には柔道部がなく、他の競技をしていたとのことでした。しかし、高校ではもう一度柔道を稽古したいとの思いから、ただ一

人の部員であることも承知の上で入部してくれたことに感謝するとともに、これでまた共に修行ができる若者ができたことは私にとっても大きな喜びでした。

しかしながら、川内君が入部し、練習を始めたのも束の間、新型コロナウイルス感染症の影響で学校全体が家庭学習やオンラインでの授業等となり、日常のクラブ活動も休止となり、公式戦も相次いで開催中止となりました。この状況は令和3年9月まで続き、10月になってやっと他校との合同練習や公式戦の再開となりました。長年、柔道の修行や指導に携わってきたものの、私自身も初めて経験する状況でした。相手がいるからこそ稽古ができ、その中で自他共に成長しながら、他人を思いやる気持ち、自分の持つ力を社会のために生かす人間を目指すための修行ができるはずですが、それ

がままならない状況には非常に苦労しました。そこでもう一度原点に戻り、ひたすら続けたのは柔道における体さばき、「崩し・作り・掛け」の一連の動き、そして基礎体力作りでした。いわば「柔道力」とも言える心技体の充実を図りました。来る日も来る日も川内君と二人だけで稽古に励み、私にとってももう一度柔道に向き合える充実した毎日でした。

令和3年10月に公式戦が開催可能となり、これまでの稽古の成果を試すことができる機会が訪れました。令和3年10月9日に開催された第31回奈良県高等学校柔道錬成大会男子60kg級で川内君が天理高校の選手2人を破り3位に入賞。さらに11月6日の第63回近畿高等学校柔道新人大会県予選においても同様に勝ち進み、3位に入り見事近畿大会出場を果たしました。

現在では、その後新たに現2年生の松永君が入部し、川内君と2人で稽古に励んでいます。今後ともさらに精進し、正しい柔道を追い求めていきたいと思えます。今後とも本校柔道部に対し、ご支援・ご指導よろしくお願いいたします。



第31回奈良県高等学校柔道錬成大会
令和3年10月9日 於：天理高等学校第二道場



第63回近畿高等学校柔道新人大会県予選
令和3年11月6日 於：ロート奈良第2武道場



第63回近畿高等学校
柔道新人大会
令和4年1月29日
於：兵庫県立武道館

教員退職

	氏名	職名	新所属	教科等	備考
1	土居 正明	校長			
2	松田 俊彦	教諭			
3	谷口佐知子	教諭			
4	竹内 巧	再任任教諭			
5	窪田 雅子	教諭	郡山	地公	再任任教諭
6	平井 睦子	教諭	郡山	数学	再任任教諭
7	木村喜美男	再任任教諭	郡山	英語	臨時講師

教員転出

	氏名	職名	新所属	教科等	備考
1	長田 真範	教頭	桜井	(理科)	教頭
2	青木 啓太	教諭	二階堂	国語	
3	柴田 真子	教諭	一条	保体	交流
4	吉田 聡	教諭	青少年・社会活動推進課		
5	中島 功	再任任教諭	畝傍	地公	
6	杉本 恵司	再任任教諭	香芝	情報	
7	木村智永子	臨時講師	高円・高円芸術	国語	
8	三好 千嘉	臨時講師	法隆寺国際	数学	
9	細川 善司	臨時講師	大阪市立中野中学校	英語	

事務退職・転出

	氏名	職名	新所属	職名	備考
1	久保西久実	係長	二階堂	事務長	

育休

	氏名	職名	期間	教科等	備考
1	増川かおり	教諭	2021/7/5~2024/3/31	英語	

教員転入

	氏名	職名	旧所属	教科等	備考
1	栢木 正樹	校長	高田商業		校長
2	乾井 学	教頭	生駒	(理科)	教頭
3	甲斐 里紗	教諭	畝傍	国語	
4	澤 隆明	教諭	平城	地公	
5	木村 義則	教諭	登美ヶ丘	数学	
6	殿村 有代	教諭	橿原	理科	
7	宮崎 玲	教諭	大淀	保体	
8	時田 和也	教諭	平城	保体	
9	大城葉寿希	教諭	奈良	英語	新採用
10	坊 佳紀	教諭	西の京	英語	大学院修学休業
11	柳屋 晴美	再任任教諭	平城	国語	
12	森川 晶子	再任任教諭	登美ヶ丘	英語	
13	森本 俊雄	再任任教諭	香芝	英語	
14	辻井 良子	臨時講師	新規	地公	

事務転入

	氏名	職名	旧所属	職名	備考
1	藤原 正憲	係長	法隆寺国際	係長	

常勤講師継続

	氏名	職名	教科等	備考
1	井上理映子	臨時講師	定数内	英語
2	藤野 佳帆	臨時講師	定数内	英語

非常勤講師

	氏名	教科	時間数	備考
1	吉川 奈緒	保健体育	6	
2	鈴木 泰葉	英語	9	
3	芦田真奈美	家庭	8	

令和4年度の冠山会総会は、新型コロナウイルス感染拡大が続く中において、本会として感染防止の責務を果たすとともに郡山高校に迷惑をかけないために開催を中止することにいたしました。

総会案件の役員改選、事業報告・事業計画および決算案・予算案については4月23日(土)に開催しました役員会において慎重審議のうえ承認させていただいております。

令和3年度 事業報告

1. 本部役員会および役員会の開催

- 4月24日(土) 令和2年度 第4回 役員会
 - コロナウィルス感染拡大にともない令和3年度総会を中止したため、総会提出議案について審議し承認した。
 - 5月27日(木) 第1回 本部役員会
 - コロナウィルス感染拡大にともない開催を中止した。
 - 6月12日(土) 第1回 役員会
 - コロナウィルス感染拡大にともない開催を中止した。
 - 6月28日(月)～7月26日(月)
 - 各週月曜日に事務局を開局し、役員輪番により会員からの問合せ等に対応した。
 - 12月4日(土) 第2回本部役員会ならびに第2回役員会
 - 次年度総会の準備状況を報告するとともに上半期事業の結果を報告した。
 - 特別会計の扱いについて審議した。
- 【令和4年】
- 3月19日(土) 第3回本部役員会ならびに第3回役員会
 - 令和4年度総会開催について協議し、決定を会長に一任し中止することとした。
 - 4月23日(土) 第4回 役員会
 - 令和4年度総会に提出する議案について審議し承認される。

2. 令和3年度冠山会総会

- コロナウィルス感染拡大のため開催を中止した。

3. 冠山会歴史愛好会

- コロナウィルス感染拡大のため全ての行事を中止した。

4. 冠山会だより(会報)の発行

- 6月22日(火) 第41号を発行し全ての会員へ発送した。

5. 清掃ボランティア活動

- 12月4日(土) 冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動を実施した。

6. 情報交換会

- コロナウィルス感染拡大にともない中止した。

7. 冠山会入会式並びに卒業式

- 2月28日(月) 卒業記念品贈呈式ならびに冠山会入会式が開催され会長が出席
- 3月1日(火) 郡山高校卒業証書授与式が挙行政され、会長、幹事長が出席。本年度は昭和47年卒業の学年が卒業後50年を記念して招待された。

◆ 令和3年度 収支決算書

奈良県立郡山高等学校冠山会
自 令和3年4月1日～至 令和4年3月31日

収入の部					(単位:円)
科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要	
前期繰越金	1,334,605	1,334,605	0	前年度からの繰越金	
入 会 金	1,775,000	1,775,000	0	卒業生 5,000円×355人=1,775,000円	
活動協力金	3,900,000	3,918,131	18,131	別紙特別会計収支報告のとおり	
総会参加費	150,000	0	-150,000	総会行事中止による	
寄 付 金	150,000	281,092	131,092	卒業生戸川氏 清水氏 寺田氏 萩原氏 昭和47年卒業生(50周年)有志	
雑 収 入	40,395	0	-40,395	広告収入等	
合 計	7,350,000	7,308,828	-41,172		

支出の部					(単位:円)
科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要	
会 議 費	30,000	1,799	-28,201		
総 会 費	1,000,000	0	-1,000,000		
卒50周年招待費	300,000	339,460	39,460	広報費、写真代経費等	
卒業記念品費	400,000	434,255	34,255	卒業記念品費(卒業証書フォルダー)	
生徒活動支援費	300,000	369,000	69,000	全国大会等出場生徒への支援	
教育事業支援金	100,000	0	-100,000		
植木剪定等事業費	100,000	211,286	111,286	校内松剪定料等	
委 託 費	3,600,000	3,564,800	-35,200	会報の編集・発送・業務委託、振込手数料等	
事 務 費	300,000	127,349	-172,651	事務用品、通信費、回線使用料等	
報 酬	320,000	320,000	0	事務補助職員報酬	
慶 弔 費	200,000	110,000	-90,000	教職員への祝金等	
諸 費	100,000	10,724	-89,276		
維持費等積立金	500,000	500,000	0	冠山会館管理・周年記念準備積立金	
予 備 費	100,000	34,519	-65,481	事務室冷蔵庫買替等	
合 計	7,350,000	6,023,192	-1,326,808		

収入決算額 7,308,828円
支出決算額 6,023,192円
差 引 残 額 1,285,636円 (令和4年度へ繰越)

◆ 特別会計収支報告(冠山会会報発行事業)

冠山会会報発行協力金収入

収入内訳	金 額
郵便振込金分	1,845,921
コンビニ振込入金分	2,066,210
現金での入金分	6,000
合 計	3,918,131

会報発行・発送業務委託料支出

サラト委託費(会報発行経費)	3,564,800
----------------	-----------

収入合計	3,918,131
支出合計	3,564,800
差引額	353,331

※353,331円は一般会計へ繰り入れます

※353,331円は一般会計へ繰り入れます

◆ 令和3年度 冠山会館維持積立金収支報告書

(単位:円)

科 目	収 入 の 部				支出の部	収支の部	摘 要
	前年度末累計	本年度積立金	利 息	合 計	本年度支出金	次年度繰越金	
積立金	3,830,397	200,000	133	4,030,530	0	4,030,530	

◆ 令和3年度 事業積立金収支報告書

(単位:円)

科 目	収 入 の 部				支出の部	収支の部	摘 要
	前年度末累計	本年度積立金	利 息	合 計	本年度支出金	次年度繰越金	
積立金	5,203,475	3,075,640	194	8,279,309	0	8,279,309	

◆ 令和3年度 冠山会名簿作成に係る収益収支報告書

(単位:円)

科 目	収 入 の 部				支出の部	収支の部	摘 要
	前年度末累計	本年度積立金	利 息	合 計	本年度支出金	次年度繰越金	
積立金	5,226,147		0	5,226,147	0	5,226,147	名簿発行収益

◆ 財 産 目 録

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
普通預金	1,285,636	南都銀行 郡山支店 普通預金(運用口座)
定期預金	4,030,530	南都銀行 郡山支店 定期預金(積立金口座)
普通預金	8,279,309	南都銀行 郡山支店 普通預金(積立金口座)
普通預金	5,226,147	南都銀行 郡山支店 普通預金(積立金口座)

令和4年3月31日現在

監 査 報 告

本日、上記の決算書について会計監査を執行しました結果、預金、帳簿、及び関係書類は符合し、正確に処理されていたことを認めます。

令和4年4月6日

会計監事 西本 功
会計監事 杉井 辰彦

令和4年度 事業計画

1. 本部役員会および役員会の開催
- 5月26日(木) 第1回 本部役員会
- 6月11日(土) 第1回 役員会
- 6月27日(月)～7月25日(月)
- 冠山会事務局開局
- 11月19日(土) 第2回 本部役員会
- 12月3日(土) 第2回 役員会
- 令和5年
- 2月25日(土) 第3回 本部役員会
- 3月18日(土) 第3回 役員会
- 4月22日(土) 第4回 役員会
2. 令和4年度総会
- ・コロナウィルス感染拡大のため開催を中止した。
3. 冠山会歴史愛好会
- ・未 定
4. 冠山会だより(会報)の発行
- ・6月下旬 第42号を発行し会員へ発送する。
5. 清掃ボランティア活動
- ・12月3日(土) 冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動を実施する。
6. 情報交換会
- ・10月中旬に本部役員と校長先生との情報交換会を予定。
7. 冠山会入会式並びに卒業式
- 2月28日(火) 卒業記念品贈呈式ならびに冠山会入会式
- 3月1日(水) 郡山高校卒業証書授与式
- 昭和48年卒業の学年が卒業後50年を記念して卒業式に招待される。

◆ 令和4年度 冠山会予算書

奈良県立郡山高等学校冠山会
自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

収入予算額 7,300,000円
支出予算額 7,300,000円
差引過不足額 0円

収入の部				(単位:円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
前期繰越金	1,285,636	1,334,605	-48,969	前年度からの繰越金
入 会 金	1,775,000	1,775,000	0	卒業生 5,000円×355人=1,775,000円
活動協力金	3,900,000	3,900,000	0	会報発行協力金
総会参加費	150,000	150,000	0	総会参加費
寄 付 金	150,000	150,000	0	
雑 収 入	39,364	40,395	-1,031	広告収入等
合 計	7,300,000	7,350,000	-50,000	
支出の部				(単位:円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
会 議 費	30,000	30,000	0	役員会、年次幹事会、活性化部会開催経費
総 会 費	1,000,000	1,000,000	0	総会、懇親会開催経費、講師謝礼等
卒50周年招待費	300,000	300,000	0	卒50周年(昭和48年卒)招待経費
卒業記念品費	400,000	400,000	0	卒業記念品贈呈費用
生徒活動支援費	350,000	300,000	50,000	全国大会等出場生徒への祝金、支援金
教育事業支援金	100,000	100,000	0	リーダー育成海外研修事業への支援
植木剪定等事業費	100,000	100,000	0	植木剪定ボランティア運営費等
委 託 費	3,600,000	3,600,000	0	会報発行委託料
事 務 費	250,000	300,000	-50,000	事務用品、運送料、通信費等
報 酬	320,000	320,000	0	事務補助報酬(月額20,000円×16ヶ月分)
慶 弔 費	150,000	200,000	-50,000	教職員への祝金、香料等
諸 費	100,000	100,000	0	会長、副会長祝賀会等参加費
維持費等積立金	500,000	500,000	0	冠山会館維持、周年記念準備積立金、事業積立
予 備 費	100,000	100,000	0	
合 計	7,300,000	7,350,000	-50,000	

● 郡山高校 ● インターネットでホームページを開設

奈良県立郡山高等学校の公式サイトです。http://www.e-net.nara.jp/hs/koriyama

同窓会をされた
幹事さんへのお願い



名簿の異動、会報への寄稿や写真提供がありましたら
冠山会事務局 (0743-55-0556)
までFAXにてお知らせ頂ければ有難く思います。

編
集
後
記

冠山会会員のみなさまいかがお過ごしでしょうか。
コロナ禍に翻弄された昨年、一昨年、今年こそは良い年になりますようにと迎えました。が、連日の暗いニュースの報道に心が痛みます。
しかし、今回の「冠山会だより」にはそんな気持ちを吹き飛ばしてくれるような記事を投稿していただき、元気をたくさんもらいました。
大先輩から卒業されたばかりの会員の方まで「冠山会だより」が交流や情報交換の橋渡しになれば幸いです。

令和3年度
冠山会寄附金

下記の皆様よりご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

昭和11年度卒業生清水三代氏より	20,000円
昭和16年度卒業生戸川暢子氏より	30,000円
昭和31年度卒業生萩原良子氏より	14,092円
昭和33年度卒業生寺田カツ子氏より	50,000円
卒業50周年(昭和47年卒業生)	167,000円
合 計	281,092円